

異種金属接触腐食の 機構、事例と対策技術

1名分料金で
2人目無料

※この講座は職場や自宅のPCでオンライン会議アプリZoomを使って受講できます。受講方法は申込後にご連絡いたします。

- ◆日時:2024年6月17日(月) 10:30~16:00
- ◆会場:あなたの職場や自宅のPCで受講可
- ◆聴講料:1名につき55,000円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

- ・1名でお申込みされた場合、1名につき44,000円
- ・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で55,000円)

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

HPはこちら ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/2406106>

●講師:MIYASAKA Lab.(腐食防食コンサルティング) 宮坂 松甫 氏

《講座の趣旨》

様々な機器・構造物では、各部品・部分に要求される機能に応じて材料が選ばれ、複数の異なった材料が組み合わされて使用される場合が多い。これらの機器・構造物が腐食環境に曝されると異種金属接触腐食(ガルバニック腐食)による被害を受けることがある。異種金属接触腐食は、腐食の速度を大幅に加速するので、確実な防止対策が必要である。異種金属接触腐食は、海水、淡水など水溶液環境だけでなく、最近では、大気環境で使用される自動車、航空機などでも、軽量化・マルチマテリアル化を背景に、問題となっている。

本セミナーでは、異種金属接触腐食について、その機構、事例、および防止対策を、水溶液腐食の基礎に立ち返ってわかりやすく解説する。異種金属接触腐食は、犠牲陽極を用いたカソード防食と表裏一体の関係にあるので、カソード防食についても解説する。また、これらの挙動を、解析的に予測する技術とその適用事例を紹介する。

《プログラム》

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 異種金属接触腐食とは(概説) 各環境における問題点と異種金属接触腐食の事例 <ol style="list-style-type: none"> 海水環境 淡水環境 大気環境 水溶液腐食の基礎 <ol style="list-style-type: none"> 腐食反応の式 皮膜の保護性と耐食性 腐食形態 分極曲線と腐食速度 環境因子の影響 異種金属接触腐食の機構と予測 <ol style="list-style-type: none"> 異種金属接触腐食の機構 | <ol style="list-style-type: none"> カソード防食の利用法 異種金属接触腐食の予測の考え方と問題点 数値解析技術の適用 <ol style="list-style-type: none"> 数値解析技術の必要性 数値モデル化(支配方程式と境界条件)と境界要素法による解法 解析プログラムの開発と検証 実機ポンプへの適用例 異種金属接触腐食の対策技術 <ol style="list-style-type: none"> 適切な材料選択 カソード/アノード面積比の縮小 液間抵抗の低減または絶縁 その他の対策 異種金属接触腐食対策のまとめ |
|---|---|

【質疑応答】

『異種金属接触腐食』WEBセミナー申込書

FAX:03-5857-4812

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

●セミナーの受講申込みについて●

左の申込みフォームに必要事項をご明記の上、FAXしてください。お申込み後は、弊社より確認のご連絡をいたしまして受講券、請求書をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>